

事務事業名	キャッシュレス決済消費喚起支援事業		所属部	産業観光部	所属課	商工振興課		
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	地域産業支援G	課長名 宮川 勉		
	施策名	〈37〉商工業の振興		担当者名	金山 佳文	電話番号 0854-40-1052 (内線) 2392		
	目的・対象	商工業事業所(者)	意図	経営の安定・強化を図り、雇用を拡大する。				
	基本事業	〈109〉地場企業の経営支援		予算科目	会計	款	大事業	大事業
目的・対象	市内事業所	意図	経営の安定・強化を図り、売上を伸ばす。		項	目	中事業	キャッシュレス決済消費喚起支援事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
対象事業者	決済額の20%が還元されることにより市内事業所での消費喚起につながる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )	新型コロナウイルス感染症の拡大による消費減退に対し、キャッシュレス決済事業者のpaypay株式会社と協力し、キャッシュレス決済の決済額を20%還元することにより消費喚起を促す。 事業者のキャッシュレス決済の対応推進、スマホ決済に不慣れな方への決済の指導教室を実施した。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
新型コロナウイルス感染症の拡大による消費減退に対し、キャッシュレス決済事業者のpaypay株式会社と協力し、キャッシュレス決済の決済額を20%還元キャンペーンを行った。	単年度事業なので特になし。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 対象店舗のキャッシュレス決済額の増加率	%	-	-	385	-
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
事務費・広告費等 574千円 負担金 10,231千円(キャッシュバック、事業者用広告宣伝分)	財源内訳	国庫支出金	千円				10,805	-
		県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円					
事業費計		千円		0	0	10,805	0	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	対象店舗のキャンペーン期間の対象キャッシュレス決済の取引額が全体で大幅に伸びた、引き続き、新型コロナウイルス感染症に係る感染症対策や経済対策が必要な中、本事業により事業者の売上への寄与及び市内の消費者の消費喚起が図られた。 幅広い世代での利用者数が増えた。
② 事業実施するうえでの課題	キャッシュレス決済の推進、多くの方に参加いただくことでの消費喚起のために幅広い年齢層に利用していただくための取り組みが必要。
③ 課題解決に向けた改革改善等	キャッシュレス決済、スマートフォンの利用を身近にしていける取り組みが必要。